

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2974300093		
法人名	株式会社 エース		
事業所名	グループホーム太陽十津川 折立の郷		
所在地	奈良県吉野郡十津川村折立364-1		
自己評価作成日	平成28年10月31日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2974300093-00&PrefCd=29&VersionCd
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 Nネット
所在地	奈良市登大路町36番地 大和ビル3階
訪問調査日	平成28年11月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域住民との交流を大切に、運動会・花見・夏祭り・盆踊り等の行事に積極的に参加し、自らも主催者となり夏祭りや救命講習会等を開催しています。家庭的な雰囲気作りを心掛けアットホームな生活を送って頂けるように取り組み、入所者様とその家族様が安心と希望のある未来が実現できるように努力しています。また訪問介護・認知症対応型通所介護・介護付き高齢者住宅・介護タクシー・移動支援事業等を併設、奈良事業所との連携、多様化するニーズに対応できる体制作りにも力を入れています。防災に関しては、スプリンクラー・火災通報装置・自動火災報知設備・2Fからの避難路の設置等と共に、消防署・十津川村役場・地域住民と連携しながら、災害に強い施設づくりをしています。また十津川村における地域資源や社会資源の開発にも力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは山間の過疎化が進む十津川の地で、介護を必要とする高齢者を支え続けて12年となる。次々と村内に発生するニーズに対応するため行政や消防、地域と連携し、グループホームを母体にして介護サービスを新たに加えていった経緯がある。運営者は人権尊重と地域貢献、職員のワークライフバランスを基本に利用者、家族の信頼を得るため、職員とともに日々活動している。職員の資格取得を積極的に進め、地域の特性ニーズに応じて救急搬送士の資格を持つ職員もいる。利用者は職員の見守りと適切な支援を受け、のんびり安心な日常を暮らし、最期は過度な医療行為を受けず、自然な形で家族、職員、利用者に見守られながら看取られる方が多いホームである。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「太陽は人間尊重を基本とし、家庭的な環境と地域住民との交流の下で」をGHの理念として掲げ、経営理念に沿った支援を職員一同心掛けています。	代表者は、利用者・家族から信頼され、地域社会に貢献することを理念として、常に職員に伝えており、職員もこれを理解し、実践に活かしている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の方々が畑で採れた野菜を持ってきて頂く事があったり、近所の子供達が犬を可愛がりに遊びにきます。グループホームも夏祭りや講習会を開催し皆様に参加して頂いております。また地域の消防団に加入している職員もいます。	盆踊りや神社の祭り、クリスマスパーティーなど地域の行事や事業所主催の行事を通じ住民との交流を図り、日常的にも野菜を届けてもらうなど交流がある。地域の一員として自然体で地域に溶け込んでいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏祭りや講習会を開催して、地域住民の交流の場を提供しています。また台風接近時に一人暮らしの方々が避難所として利用される場合もあります。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において地域の総代様や老人会会長、役場職員、消防職員の方々からの意見をお聞きし、サービス改善や安全対策の参考にさせて頂いております。また十津川村における福祉の現状や展望についての意見交換も行います。	運営推進会議を年6回開催は諸事情により難しい状況にあるが、開催時には字総代、老人会会長、福祉事務所職員、消防署職員などの参加を得ているが、家族の参加は得られていない。会議では、各分野の方達の幅広い意見が出され話し合い、会議を通じて地域との連携強化が図られている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉事務所とは密な連携や協力体制が構築されています。困難な事例についてもお互いに相談させて頂いています。また介護事業だけでなく、例えをあげれば、施設で行っている椎茸栽培について農林課の指導をうけるといった十津川ならではの結びつきもあります。	福祉事務所との連携でグループホームを母体に地域の高齢者の生活を維持させるために次々と福祉サービスを増やした経緯があり、協力体制が構築されている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内外の研修で学ぶ機会をつくっています。ただ玄関については帰宅願望の強い入所者様の安全を第一に考え施錠しています。また施設を狙った窃盗や猟奇犯罪を防ぐためにも施錠する事は必要だと考えています。	人間尊重を基本にしたケアがなされており、代表者や管理者は生活の場にいることが多いので、気付いたことはすぐに伝えることが出来、毎日のミーティングでも何が拘束になるのかを話し合っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎日のミーティングにおいて虐待の防止や早期発見に努めています。虐待に関する研修にも参加し、県の虐待防止パンフレットも活用しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は管理職も含めて、この制度を理解するため認知症の研修等に参加しています。日々の業務については役場福祉とも連携して対応しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	問い合わせの段階からご本人や家族様の思いや疑問点をお聞きし、担当ケアマネージャーも間に入って頂いています。契約時においても、契約書や重要事項説明書で十分な説明をし納得して頂いた上で契約を交わしています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様がGHに面会に来られた時などに意見や思いをお聞きし、ミーティング等で話し合って反映していけるよう努めています。利用者様から必要な物をお聞きした時には、家族様へ電話やお手紙でお伝えしています。	家族の来訪時に聴いた意見や要望を、速やかにサービスへ反映させるための処理体制や対応手順を定めている。約半数の家族は遠方のため面会も少ないが、電話連絡の他に手紙や写真、運営推進会議の議事録などを送付し、家族への働きかけを行っている。	前回の目標達成計画であった「家族との関係を強化する」取り組みを実施されており、継続して取り組まれることを希望する。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日18時よりミーティングを開催して、今日の出来事や反省点、明日の予定について話し合っています。運営に関する事項についても意見を出し合い話しあって反映できるよう努めています。	ミーティングでは業務引き継ぎ、伝言、予定、報告、研修など様々なことが話し合われており、それらの事を工夫された日誌に解りやすく記録している。代表者、管理者は「ワークライフバランス」の考えのもと、職員の意見や家庭事情などを考慮する姿勢を持っており、永年勤める職員も多く活発に意見交換されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働環境について個々の職員が安心快適に働けるよう日々改善しています。仕事と生活の調和が実現した社会を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の考えを取り入れて、職員の希望が反映されるよう努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修だけでなく、外部の研修にも参加できるよう研修案内のお知らせをミーティングで紹介し、参加できるよう日程調整等を行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	奈良事業所との連携、新宮市医療センターや高森の郷の研修に参加させて頂いたり、十津川村が企画する研修や講習にも積極的に参加し、研修で学んだ事や感じた事をミーティングで報告し共有しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所される方の不安な気持ちや要望をお聞きし、信頼関係の構築に努めています。また御希望があればいつでも気軽に見学や体験をして頂けます。担当ケアマネージャーが見学に同行されることもしばしばあります。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の面接や見学・契約時において家族様の不安や思いをお聞きして、担当のケアマネージャーとも連携してより良い信頼関係を結べるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や家族様がまず必要とされているニーズを見極めるため、家族様からの情報だけでなく、担当ケアマネージャーとも連携しています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理の手伝い、簡単な掃除、洗濯物たたみ等、無理のない範囲で出来る事をして頂き「必要とされる存在」であると感じてもらっています。また昔の十津川村の話をする時には、興味深い内容が多く職員も聞き入っています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様が面会に来られた時に日頃の様子をお伝えし、入所者様の暮らしを共に支える関係づくりを心掛けています。入所者様の認定調査時に立会いたいという家族様がおられ、実際に調査を見学され母親の認知症状がすすんでいる事について理解されておられました。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	祭りや地域の行事に参加させて頂くことによって、地域やお付き合いのあった方々とお顔を合やす機会となっています。また十津川村の地域特性でもありますが、病院の待合室が村民の皆様と交流できる場となって会話がはずみます。	利用者のほとんどは地域からの方なので、地区の行事や事業所の行事への参加や、医療機関への受診時などが知り合いに会う良い機会となっている。兄弟の家に外泊したり、友人が見学に来られることもある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様の性格や相性を考慮したうえで食事の座席を考えています。また入浴を拒否される方には、仲の良い方に入浴をお誘いして頂くこともあります。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時にいつでも相談して下さいと声掛けしています。十津川村内で家族様とお会いする機会もしばしばありお話しすることがあります。退所された方が電話をかけて下さる事もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所者様本位のより良い暮らしとなるよう、日々の生活の中での思いや希望をお聞きして、お手紙等で家族様へもお伝えしています。また家族様の希望についても面会された時などにお聞きしています。	利用者や家族の意向を面談時記録し、アセスメントシート、紹介者ノート、主治医意見書などを十分把握したうえで、今必要なことは何かを抽出し対応している。日々の生活の中で職員は、利用者の手足をいつもさすりスキンシップしながら思いや意向を聞いている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族様・担当ケアマネージャー等より情報を得て、フェイスシート等を各入所者様のファイルに綴って職員間で情報共有しています。日々の会話の中にも様々な情報が含まれているので注意深く傾聴しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所者様の日々の状況について気づいた点を記録し、問題点に関しては毎日のミーティングで報告や話し合いをして現状の把握に努めています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所者様ご本人や家族様の希望や意見をお聞きし、計画に反映させるように努めています。また心身に大きな変化が見られた場合には、家族様や関係者に相談し区分変更等も視野に入れ、計画を見直しています。	利用者の思い、日々の記録、ミーティング日誌、日常の様子などを参考に、やりがいや生きがいが考慮された介護計画書を作成し、家族に説明し確認を取っている。モニタリングは随時ミーティング時に行なっている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問介護、介護タクシー、デイサービス、ショートステイ、介護付き高齢者住宅、移動支援事業、認定調査など、幅広いニーズに対応できる体制作りに取り組んでいます。新たに奈良事業所では認知症対応型通所介護事業所を開設しました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所者様の一人一人が地域を支える一員として役割を担っていただけるよう支援しています。地域の行事には積極的に参加しています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関とは受診だけでなく相談や往診にも応じて頂いています。診療所医師や看護師、役場福祉、各事業所の管理者等が参加する地域のケア会議にも出席させて頂きました。	村内2か所の医療機関とは、利用者のかかりつけ医でもあり事業所の協力医療機関でもある。通院は職員が同行し、受診記録を残し、家族には電話で報告している。緊急時には近くにある消防署の救命士の協力を得られる体制がある。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日常の入所者様の情報や気付きを看護職員に伝えて情報の共有に努め、介護看護が連携をとり合い健康管理を行っています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院される方の介護サマリーやフェイスシートを提供し日々の生活の情報をお伝えしています。また新宮市医療センター地域連携室より研修のご案内を頂き、できるかぎり参加するよう努めています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り指針は実施しています。入所者様の終末期に関しては早い段階から家族様との話し合いを行い意向をお聞きしています。主治医とも連携がとれる体制となっています。ご本人及び家族様の希望にそった支援ができるよう取り組んでいます。	看取りの指針を作成し、利用者、家族の意向に添った支援がされている。食事ができなくなった時点でターミナル支援の体制を取っている。医師の指示のもと職員はミーティング時に、安らかな最期を迎えられるよう支援の方法などを話し合っている。今年は6名の方を看取った。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDがグループホーム内に設置してある事もあり、自らが主催者となって消防によるAEDや緊急時の対応についての講習を開催しています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災を想定した避難訓練を実施し、地域住民や役場職員の方々にも参加・見学して頂いています。訓練後に反省会を実施し忌憚なき意見をお出し頂いています。災害時には消防・地域・役場が協力して頂ける関係が構築されています。	避難訓練実施要領に沿って、運営推進会議の参加者や利用者が参加して避難訓練が行われた。スプリンクラー、緊急通報装置など防災対策がされており、緊急搬送の資格を取った職員もいる。地域だけでなく行政、消防などの協力体制が構築されている。夜間想定訓練は今年はされていない。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症研修に参加したり、日々のミーティングで話し合いをしています。また新規職員にはプライバシーの保護や守秘義務について説明し誓約書にサインをしてから勤務して頂きます。	人格尊重やプライバシー保護に関してはミーティング時に話し合ったり、代表者や管理者は職員が不適切な対応した時は、即座に口頭で注意をしている。プライバシーに関しては、新規採用職員には新任研修の中で講義している。外部研修にも参加している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい関係作りや答え易い質問をすることで、ご自身の意思を表していただくよう努め、可能な限り自己決定できるよう支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活のため一日の流れはありますが、入所者様の体調や希望に合わせて、臨機応変に対応しその人らしい生活が出来るように支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容に関しては職員(有資格者)によるカットだけでなく、希望者には毛染めをしておしゃれを楽しんで頂いています。化粧ポーチを持ってこられている方もいます。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下準備や食後の膳を下げて頂いています。食事前には指、肩、首を動かす体操を実施しています。地域行事には弁当持参で参加し青空の下で食べています。お食事会も企画し外食へも出かけています。嚥下機能が低下している方にはとろみをつけて誤嚥防止に努めています。	調理師資格を持つ担当職員が、利用者が好む献立や調理法を考えて手作りしている。野菜の下処理や下膳を手伝う利用者もいる。地域には食堂やケータリングサービスがなく、地域の行事や事業所行事で出かける時はお弁当をつくり持参している。時にはホテルへ出かけ好きなものを注文する食事会を催すなど食べる楽しみの工夫をしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下機能が低下している方には、刻んでとろみをつけたりミキサーにかけて食べやすい工夫をして誤嚥防止に努めています。食べることができない状態の時には高カロリーのゼリー等を提供しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	看護師による口腔チェック、夕食後は歯磨きやぶくぶくうがい、義歯については洗浄剤を使うよう努めています。義歯等の不具合があれば歯科受診をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の入所者様の排泄パターンを把握し声掛けや誘導を行っています。居室内にポータブルトイレを設置して対応することもあります。また、おむつや紙パンツの使用を必ずしも否定はせず、外出時には利用して出かかっています。	居室にトイレが設置されていて、排泄確認が難しい方もいるが、利用者ごとの排泄チェック表を付け排便の間隔に注意している。昼間オムツ使用者はなく、3時間ごとにトイレに座ってもらうよう声掛けをしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表を活用して排便状況を職員間で共有し便秘予防を心掛けています。また個々の排便のタイミングについてもミーティングで話し合っています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は週3回を基本とし、入浴チェック表を活用して入浴状況を把握しています。入浴嫌いの方については声掛けを工夫して入って頂けるよう努めています。また新たに個室を導入しました。	浴室が広いので一人用の浴槽を新たに設置し、職員からは安全に配慮しやすくお湯はりも早くなったと評判が良い。風呂嫌いの方には異性から声掛けをするなど工夫し、週3回の入浴を実施している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝をされたりして自由に過ごして頂いています。居室においては眠りやすいように冷房や暖房を活用しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み忘れのないように声掛けや一包化等の服薬方法を工夫しています。用法や効能を記載した服薬管理ファイルを活用し情報の共有にも努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌が好きな方、調理が得意な方、裁縫が得意な方等、一人一人の力を見極めて、楽しみながら生活をして頂けるように支援しています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域行事に積極的に参加しています。入所者様が参加できるよう座席等について地域の皆様が配慮や準備をしてくれています。また近所の方から野菜を皆様に食べてほしいといった電話もあって、散歩がてら入所者様といっしょに頂きにあがったりしています。	日常的に出かけるのは難しいが、歩ける人は近所を散歩することもある。地域の行事は外出の良い機会ととらえ積極的に参加し、利用者は友人や地域住民と会えるのを楽しみにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については、各入所者様の管理能力や家族様の意向に沿った支援をしています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様からの電話を取り次いだり、家族様からの手紙はご本人に渡して読んで頂いています。請求書等の送付時に利用者様の希望や要望を記載してお送りしています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事を行った時の写真を貼ったり、レクで作成したものを飾ったり、季節の花々を花瓶に挿しています。またエアコンや扇風機で快適な温度になるよう調節をしています。	六角テーブルと大型テレビ、ソファが置かれた居間は、通所介護や短期入所の利用者が増えると手狭になってきている。利用者はソファでおしゃべりをしたり、居室で休まれるなど、のんびり自由に過ごしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子とソファを設置しています。利用者様が好きな、歌や動物の録画番組を流しています。演歌のCDも流します。みなさんが過ごしやすい共有空間となるよう努めています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のドアに表札を貼りつけて工夫しています。また自宅で使用されていた使い慣れたものを持って来られたり、個々のADLからベッド利用や畳の上で布団を敷いたりしています。	居室には洗面台とトイレが設置されており、ベッド、布団は事業所が提供している。急遽利用された方は衣装ケースなど身の回りの物だけを持ち込まれていた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の生活歴を参考に、家事手伝い・歌レクへの参加を支援しています。また各部屋にトイレがあり、安全に歩行ができるよう段差をなくしバリアフリー化に努めています。居室のドアには表札をつけています。		